

川内文化ホール跡地利活用事業の進捗状況等について

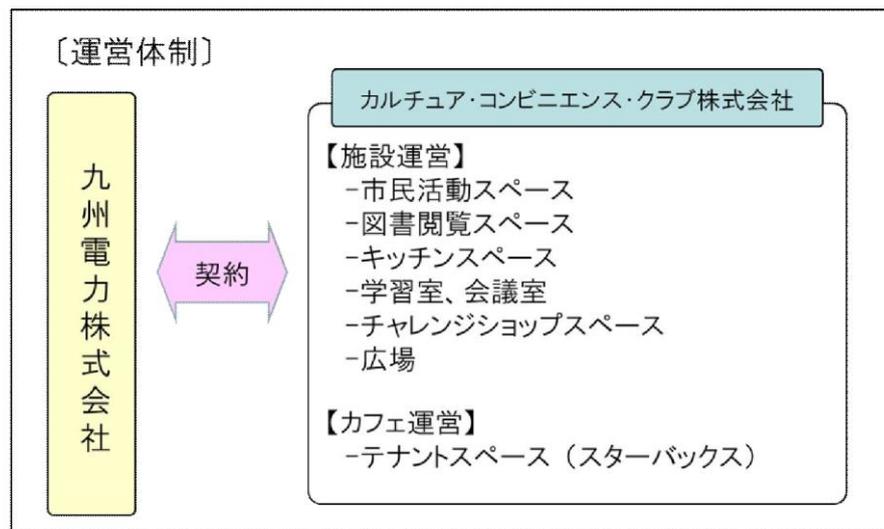
令和5年8月22日
未来政策部 企画政策課

川内文化ホール跡地利活用事業（以下「本事業」という。）は、令和3年8月23日に、九州電力株式会社と「川内文化ホール跡地利活用に関する実施協定」を締結し、本事業を実施する正式事業者として位置付けた上で、現在、来年3月以降の供用開始に向けて工事、調整が進められている。

1 施設の運営体制

九州電力株式会社より、本施設の運営体制及びテナントについて、本日、公表された。施設の運営については、全国各地において賑わい施設運営の豊富な経験と実績を有するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（東京都）へ委託することが決定されている。

本館1階には、市民活動や図書を閲覧できる多目的スペースにカフェ（スターバックス）を併設することで、コーヒーを飲みながら読書をするなど、ゆったりと過ごしていただける空間が創出される。



内部イメージ（入口から）



内部イメージ（キッズ）

2 愛称募集（愛称投票）

九州電力株式会社において、令和5年5月11日～同6月9日の間で行われた「愛称募集」の応募作品（480作品）のうち、愛称選定委員会等で絞り込みを行った5作品について、令和5年7月31日～同8月25日の間で「愛称投票」を実施中。

9月上旬に愛称決定を予定。

👑 最優秀候補作品 👑 ※五十音順

<p>A がらっぱれっと</p>	<p>D センノオト</p>
<p>B せんだい虹まち広場</p>	<p>E ノビューク川内</p>

投票はこちら！

✍️ A～Eの中から1つ投票ください

【参考】施設概要

コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・九電グループ経営ビジョン2030に掲げた「持続可能なコミュニティの共創」を志向 ・薩摩川内市民（子育て層を中心とした親子3世代）が集い、楽しみ、くつろぎ、学べる場所、「開放感・笑顔あふれる憩いの空間」を提供し、中心市街地の持続的賑わいの創出、活性化に寄与
整備概要	<p>【建 物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積約3,500㎡の自社ビル2棟（本館：2階建、別館：平屋建） ※ 木造で耐震性を確保し、大空間や大開口が可能な工法を採用。また、建物や設備の省エネと創エネを導入したZEB（Net Zero Energy Building：一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物）を目指す。 ※ 本館2階には、九州電力株式会社川内営業所及び川内原子力総合事務所の機能を移転 ・建物外構に広場を設置 <p>【駐車場】</p> <p>立体駐車場（120台程度）及び公用車駐車場（56台）を設置</p>
事業費	<p>25億8千万円以上（施設整備費＋29年間の市有地賃借料）</p> <p>※この他に、川内文化ホールの解体経費、施設運営費を負担</p>



(上) 外観パース
(左) 鳥瞰パース